

取組項目 3-2 公共施設のユニバーサルデザインを推進する
 [事業番号 28] より使いやすい区立施設・区立公園の整備 補足資料

1 令和4年度の実施

区立施設および区立公園の新築等におけるバリアフリー整備に関する区民等による点検

対象施設	区分	参加モニター	テーマ等
向山小・田柄中	聴取	車椅子使用者 (3名)	新校舎と既存施設(屋内運動場やプール等)の災害時も考慮した移動経路整備
中村橋区民センター	聴取	車椅子使用者(2名) 視覚障害者(3名) 聴覚障害者(2名) その他施設職員ヒアリング(5施設)	分かりやすい案内誘導・サイン計画と災害等避難時に必要な設備。 ※世田谷区立保健医療福祉総合プラザを類似施設として、事務局および学識者による見学も実施。
(仮称)南高松憩いの森	聴取	視覚障害者(2名) 子育て(1名)	点字ブロックに代わる園路のガイド・誘導方法および立入を規制したいゾーンの区分け 案内板や樹名板の分かりやすさ等

※3施設とも、設計所管課・設計者・施設所管課が参加

当日ヒアリング等により出た意見を、「意見集約書」としてまとめ、設計者等に共有し、実施設計等において反映できるかどうかについての検討を依頼。

2 令和5年度の実施(予定)

対象施設	区分	参加モニター
富士見台地区区民館	検証	車椅子使用者、視覚障害者、子育て、杖利用者
関町たけした公園	聴取	視覚障害者、車椅子使用者、子育て等(予定)
豊浜小・練馬東小	聴取	視覚障害者、車椅子使用者(予定)
練馬区立美術館・貫井図書館	聴取	視覚障害者、車椅子使用者、聴覚障害者、子育て等(予定)